



# 普通科通信

H23年  
10月号



今年のフロンティア事業のテーマは「福高スクラムⅡ」周囲の皆様の協力を得てさらに前進します。

## 普通科「学び」の一場面を紹介

表現力アップは、良い手本を真似ることから ～新聞活用セミナー～

正しい日本語で、自分の伝えたいことを正確に相手に伝えることは、なかなか難しいことです。しかし、相手の意見や考えをよく聴き、その上で自分の意見を筋道立てて表現する力は、今社会で求められている重要な力であり、『読解力』や『コミュニケーション力』とも呼ばれています。

本校では、昨年度より「学力向上フロンティア校」支援事業の一環として、朝日新聞社と連携して、1年生を対象に新聞活用セミナーを実施しました。まずは新聞に慣れ親しむことを通して



文章を書くプロともいえる新聞記者の表現方法を手本として真似ること、それから徐々に自分なりの表現へと工夫していくことをすすめていただきました。特に、各新聞が1面に載せている「コラム」を書いている方は、各新聞社の中でも超一流の記者なのだそうです。本校でも朝日新聞のコラムである天声人語の音読や書き写しを行い、その文体に親しむと共に、コラムに対する自分なりの意見をまとめることを通して、表現力の向上に取り組んでいます。

11月には、朝日新聞社から講師の先生をお招きし、新聞の読み方や、互いに意見を述べ合うディベートの方法、小論文の書き方などについて御講演をいただく予定です。また、希望者を対象に「語彙・読解力検定」を実施し、自分自身が持っている「ことばの力」を客観的に知る取組も進めていく予定です。

## 普通科説明会の御案内

～百聞は一見に如かず！ 福知山高校普通科の勢いを御覧ください。～

11月13日(日)の午後に、普通科説明会を実施します。新年度より類・類型(I・II類)が発展的に解消され、本校独自の新しい教育システムで進路希望に柔軟に対応します。学習にも、部活動にも真剣に取り組める環境の整った福知山高校の様子を実際に見学し、体験してください。すでに各中学校へ案内をお届けしましたので、御覧いただき、ぜひ御参加ください。  
※ 右写真は、開会行事での書道・吹奏楽コラボパフォーマンスの様子

## 取組紹介 みらいの窓

福高作文  
～新聞活用セミナー～

**天声人語**

阿久悠さんが黄色になつて寝込んだのは24歳の時だ。過労と栄養不良から肝臓をもちれた。1961(昭和36)年、後の大作詞家もまた、将来を描き切れぬ(広告マン)である。独り身の病氣ほど心細いものはない▼阿久さんを慰めたのはラジオの歌声だった。「ウエホムフヒテ、アールコホホホ」と不思議な歌謡。「涙がこぼれないようにと言われるのが、わけ知らず大量の涙を流したことを覚えていた」と、本紙に連載した「憂すべき名歌たち」にある▼「上を向いて歩こう」は、詞が永六輔さん、曲が中村八大さん。「黒い花びら」を当てたコンピだ。すでにアイドル歌手だった坂本九さんの「六八九トリオ」は、国内ばかりか約70カ国で1千万枚を売り、全米1位にも輝いた▼世界で愛され、日本人を励まし続けたこの曲がききよ、CDで再び売りに出される。発売50周年を祝す企画だが、震災後、店頭での問い合わせやラジオへのリクエストが急増しているそうだ。時の求めといえは、大仰だろうか▼九ちゃん「楽しみを、幸せを売る男になりたい」と語っていた。ジャンボ機墜落事故がなければ今年70歳。社会活動にも熱心だったから、芸能界のまともな役として被災地を奔走していたに違いはない▼「見上げてごらん夜の星を」「明日があるさ」。つらい出番というべきか、ご本人に代わって半世紀前の歌声が街に流れる。くじけそうなくこの国を救うのは、経済力や運動力だけではない。救うのは、応援歌もまた、私たちの財産である。

※朝日新聞 7月13日 天声人語より

生徒の意見

### 1年3組 吉田 脩人くん(福知山市立南陵中学校出身)

何事にも頑張る姿の裏には支えているものが何か必ず存在する。それは応援歌であったり、親・友人かもしれない。震災後、皆が前向きに頑張るため自然と支えるものを作ってくれた。

ただ自分自身の事となると、他人はそうそう助けてくれない。自分から支えを作れるということも1つの力だ。その力を付けていきたい。

### 1年3組 藤原 結希さん(福知山市立日新中学校出身)

吹奏楽部でもチャリティコンサートや文化祭で「上を向いて歩こう」を吹いているし、坂本九さんの曲は本当に元気が出ることを改めて感じる記事だった。今日本中がしんどいけど、応援歌は元気が出るので聴いてほしいし、私も演奏していくなかで何かが伝えられる演奏にしたいと思った。

### 1年3組 内藤 早紀さん(福知山市立夜久野中学校出身)

日本人のほとんどが知っている「上を向いて歩こう」という曲。震災が起きてからまたいろいろな場面で聴くようになった。そして歌っている人は坂本九さんという方だ。正直、顔は思い浮かばない。しかし、「楽しみを、夢を売る男になりたい」と語っておられたようだから何事も熱心に取り組む人だったのだと思う。そういう人柄もあってこの方の歌は今も歌い続けられているのかなと感じた。

### 1年1組 小谷広生くん(福知山市立川口中学校出身)

歌の力はすごいなと思いました。約50年以上前の曲も今日まで愛され続けています。僕も受験の時、苦になった時がたくさんありました。そんなときは自分の好きな歌を聴いていました。そして元気が出ました。

このように歌には力があると思います。今も昔の歌が愛されている理由は、その歌に僕たちが支えられているからだと思います。

